

平成30年7月25日
西部農林振興センター県央事務所農業普及部大田支所

標 題	三瓶周辺熱い夏第1弾 さんべ米こだまネットワークとさんべ米チーム東京～無農薬、無化学肥料栽培米の販売ネットワークマーケティング～
-----	--

(ダイジェスト)

栽培期間中無農薬無化学肥料栽培に取り組んでいる、さんべ米こだまネットワーク（（農）百姓天国、（農）たねやまびこファーム、株式会社ファーム浮布）は米の有利販売をめざし、マーケティング活動を行っています。

7月10日には、三法人が共通で使用できる販促グッズの作成に当たり、さんべ米チーム東京とブレーストーミングを行い「旨い」だけではなくもう一歩心と頭に響くフレーズを探りました。

半年間かけて行った「顧客イン」の販売戦略を元にこだまネットワークは活動していきます。☆さんべ米チーム東京とは（さんべ米販路拡大をサポートする専門家3名）

環境に優しい農業に取り組む三瓶周辺の三法人は、法人毎の特長を活かして個別に販売してきました。今年度栽培期間中無農薬無化学肥料の米の面積が1haとなることから、このお米の情報発信をだれにどのように行うか、仮説を立て、当初「清流で育てた美味しいお米を子供達に食べさせたい」、と言う思いから学校の先生方へのヒアリング、お母さん方へのグループインタビューを重ねてきました。

全国にある銘柄米の多くのキーワードは①清流②昼夜の気温差③安全・安心であり、この中に割って入るには、お米の販売は「舌」で食べるより「頭」で食べたくなるコンセプトブックを作成しコアなファン作りを進めていくことになりました。

8月3日には東京からお米マイスターが来県し、情報交換します。
農業普及部としては、引き続きさんべ米チーム東京と連携しながら、こだまネットワークを支援していきます。



5月9日に開催した小さなお客様との交流



7月10日 暑い・熱いブレスト中
三瓶地域のリソース化